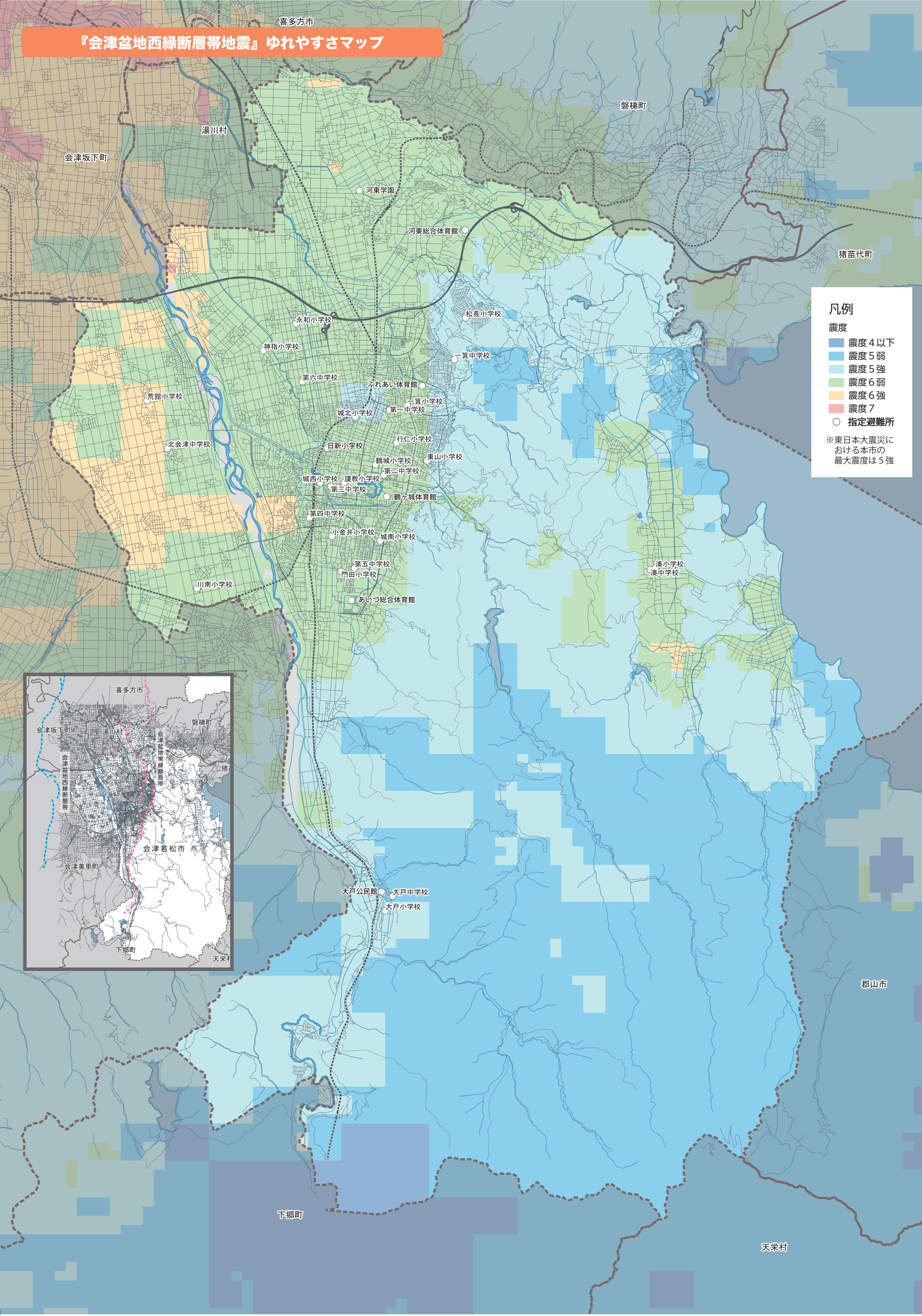


『会津盆地西縁断層帯地震』ゆれやすさマップ



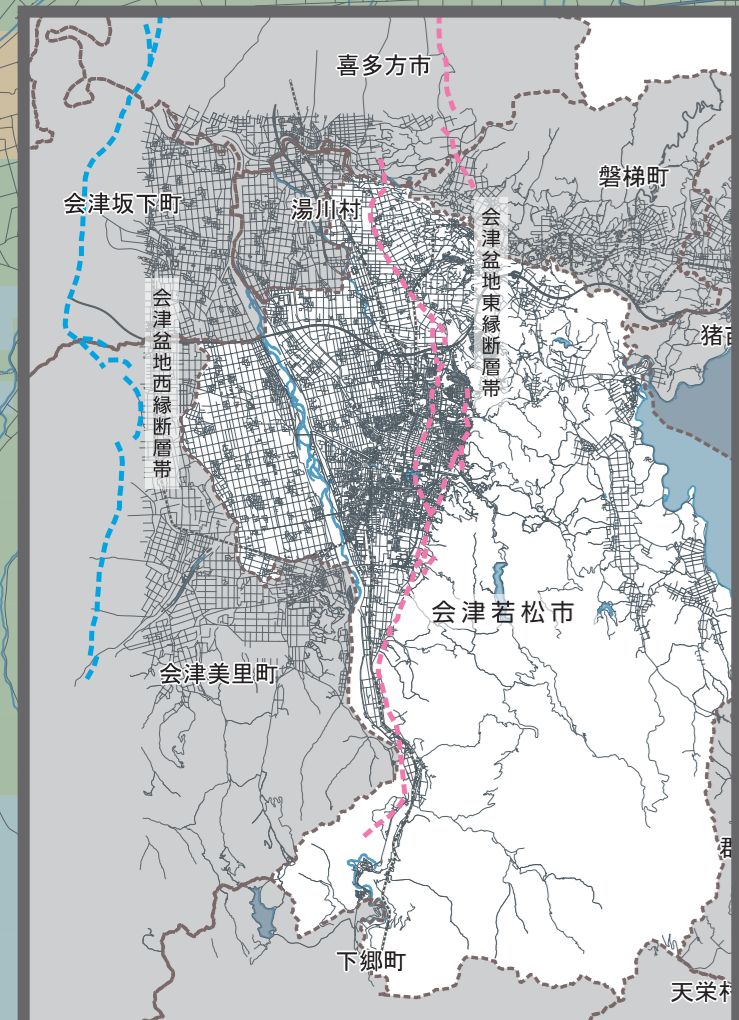
凡例

震度

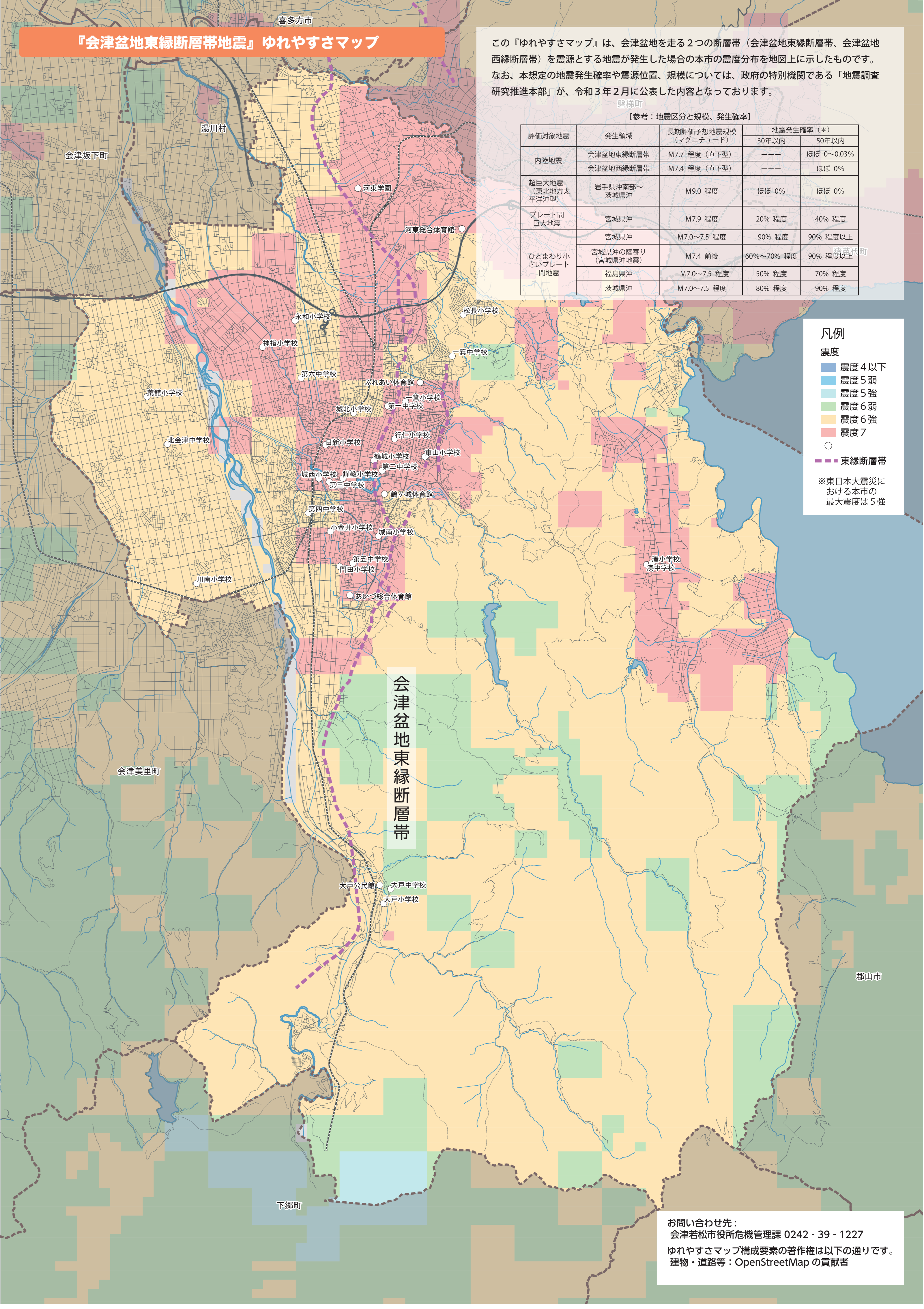
- 震度4以下
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

○ 指定避難所

※東日本大震災における本市の最大震度は5強



『会津盆地東縁断層帯地震』ゆれやすさマップ



凡例

震度

- 震度4以下
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

○ 東縁断層帯

※東日本大震災における本市の最大震度は5強

この『ゆれやすさマップ』は、会津盆地を走る2つの断層帯（会津盆地東縁断層帯、会津盆地西縁断層帯）を震源とする地震が発生した場合の本市の震度分布を地図上に示したものです。なお、本想定地震発生確率や震源位置、規模については、政府の特別機関である「地震調査研究推進本部」が、令和3年2月に公表した内容となっております。

【参考：地震区分と規模、発生確率】

評価対象地震	発生領域	長期評価予想地震規模 (マグニチュード)	地震発生確率（*）	
			30年以内	50年以内
内陸地震	会津盆地東縁断層帯	M7.7 程度（直下型）	---	ほぼ 0~0.03%
	会津盆地西縁断層帯	M7.4 程度（直下型）	---	ほぼ 0%
超巨大地震 (東北地方太平洋沖型)	岩手県沖南部～茨城県沖	M9.0 程度	ほぼ 0%	ほぼ 0%
プレート間 巨大地震	宮城県沖	M7.9 程度	20% 程度	40% 程度
	宮城県沖	M7.0~7.5 程度	90% 程度	90% 程度以上
ひとまわり小さい プレート間地震	宮城県沖の陸寄り (宮城県沖地震)	M7.4 前後	60%~70% 程度	90% 程度以上
	福島県沖	M7.0~7.5 程度	50% 程度	70% 程度
	茨城県沖	M7.0~7.5 程度	80% 程度	90% 程度

会津盆地東縁断層帯

お問い合わせ先：
会津若松市役所危機管理課 0242・39・1227
ゆれやすさマップ構成要素の著作権は以下の通りです。
建物・道路等：OpenStreetMapの貢献者